

令和2年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 令和2年度教育目標	2
3. 公民館運営審議会	9

中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
2・3歳児親子運動教室	6
家庭教育共通講座「親子で食育講座」(仮称)	6
2. 青少年教育事業	6
子どもゼミナール	6
3. 成人教育事業	7
地域づくり講座	7
健康増進教室	7
千葉県文書館出前講座 歴史講座「江戸時代の武家と行列」	7
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	7
佐倉学講座「印旛沼」(仮称)	7
佐倉学講座 ユーチューブ配信 成田参詣記にみる臼井・佐倉	7
佐倉学講座 城下町新町散策	8
佐倉学講座「古今佐倉真佐子」関連事業	8
佐倉学講座 ユーチューブ配信 野村胡堂『町人十萬石』	8
佐倉学講座 ユーチューブ配信 野村胡堂『町人十萬石』番外編 野村胡堂『町人十萬石』が佐倉市民カレッジ卒業生「いーな会」有志により 復刻されるまで	8
印旛沼公開講座	9
4. 団体育成事業	9
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	9
佐倉民話を語るボランティア派遣事業	9
グループ懇談会	9
調理室利用者懇談会	9
5. 広報事業	10
ホームページ	10
SNS	10
ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」	11
6. 視聴覚教材ライブラリー事業	12
親子映画会	12
視聴覚機器貸出	12

和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6

楽しく家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
和田剣道教室	7
軽スポーツ大会	7
夏休みおもしろ体験教室	7
子どもゼミナール	7
子ども芸術鑑賞会	8
佐倉っ子塾 料理教室	8
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	8
3. 成人教育事業	9
佐倉学体験講座 ふるさと味工房	9
佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学	9
和田市民大学手芸教室	9
和田市民大学和田工芸講座	9
和田市民大学地区交流会	10
和田地区防災講習会	10
合同研修会	10
4. 団体育成事業	11
和田地区青少年育成住民会議	11
和田小学校PTA民俗資料収集委員会	11
和田はたおり保存会	11
5. 広報・展示事業	12
公民館だより	12
歴史民俗資料室展示	12
6. 図書事業	13
図書貸し出し	13

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子遊びのつどい	6
2. 青少年教育事業	6
佐倉っ子塾 弥富剣道教室	6
プログラミング体験	6
星空観察会	6
オンラインコンサート in 弥富	7
佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾	7
3. 成人教育事業	8
グラウンドゴルフ大会	8
地域防災講座	8
刃物研ぎ教室	8
健康づくり講座	8
佐倉学入門講座 歴史講座（座学）	9
佐倉学入門講座 歴史講座（散策）	9
佐倉学体験講座 「くらしの講座」	10

4. 団体育成事業	1 1
ふるさと弥富を愛する会	1 1
弥富地区青少年健全育成住民会議	1 1
5. 広報事業	1 1
公民館だより	1 1

根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	7
親子体験教室	7
ちば探訪	7
こども工房 家族とつくるクリスマス木工クラフト	7
こども工房 家族とつくる木工クラフト	7
2. 青少年教育事業	8
根郷防災キャンプ	8
子ども体験講座 おもしろ科学実験隊	8
子ども体験講座 絵画教室	8
佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー	8
3. 成人教育事業	9
根郷寿大学	9
(市民公開講座)生活習慣病予防講座	1 0
シニアのための健康づくり講座	1 0
パソコン広場	1 1
シニア向け初めてのスマートフォン講座	1 1
珈琲学入門講座	1 1
はじめてのハンギングバスケット講座	1 1
クリスマスコンサート	1 1
製本講座 手製本で作るマスクケース	1 2
園芸教室	1 2
防災講座	1 2
千葉県文書館出前講座 千葉県における電気事業の変遷と発展	1 2
佐倉学入門講座 写真に見る佐倉の近・現代	1 3
佐倉学入門講座 衛生行政のはじまりと伝染病予防対策	1 3
佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	1 3
佐倉学体験講座 伝統の根郷産こんにやく作り体験	1 4
4. 団体育成事業	1 5
根郷地区社会教育関係団体への支援	1 5
根郷地区青少年育成住民会議	1 5
南部地区子ども会育成会連絡協議会	1 5
定期利用者懇談会	1 5
調理室利用者懇談会	1 5
5. 広報事業	1 6
根郷公民館だより	1 6
6. 図書事業	1 6

図書の貸出・返却	16
7. その他事業	16
卓球室開放	16
風除室の作品展示	16

志津公民館

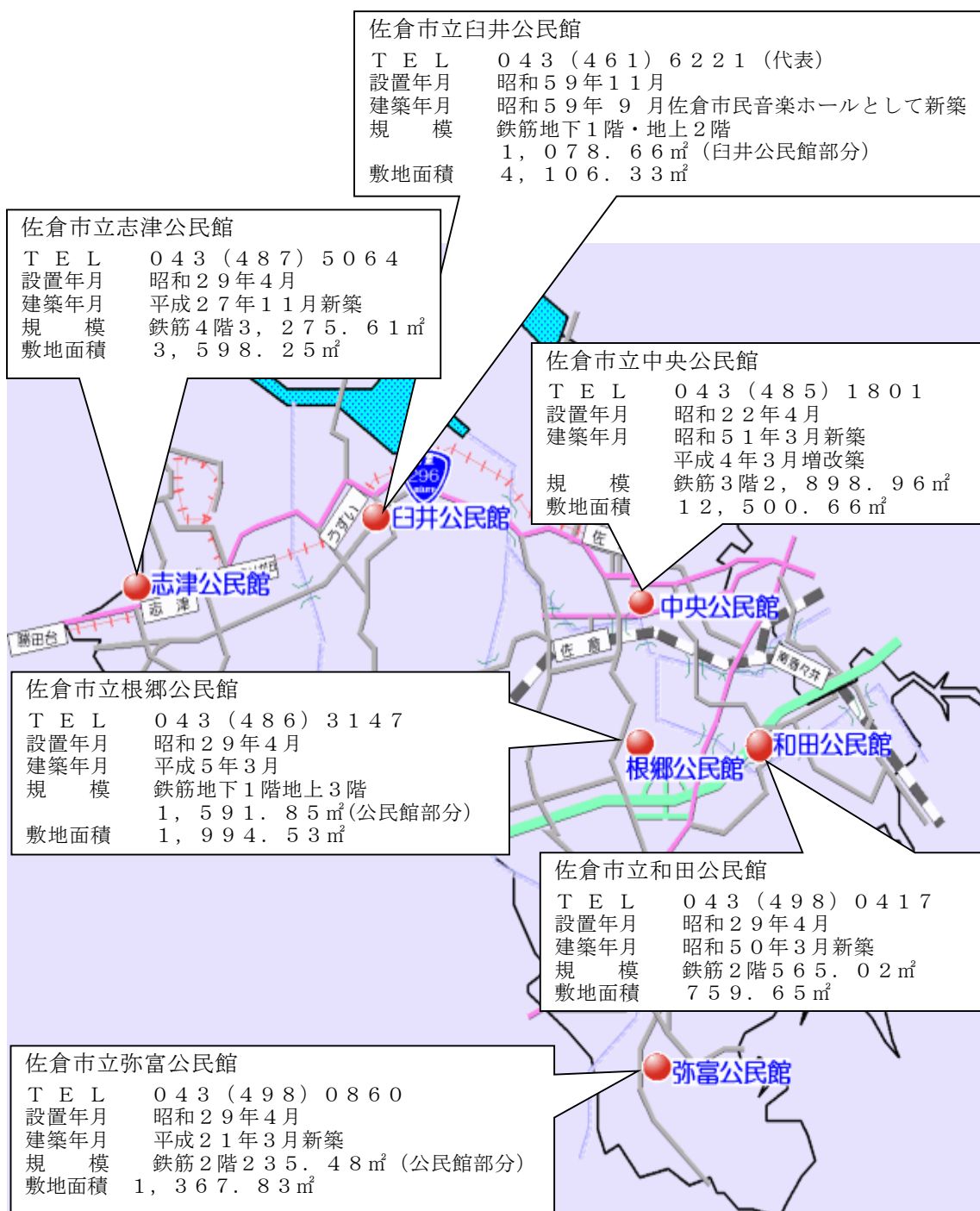
志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
2歳児と親の教室 ぽっぽちゃんのお家へいこう	7
笑顔で子育て応援講座	7
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 志津子ども教室	7
佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習	7
3. 成人教育事業	8
しづ市民大学(第30期)	8
風情ある寄せ植え講座(秋・冬)	8
包丁について学ぶ	8
佐倉学特別講座 百年前に流行したスペイン風邪と佐倉市域の人びと -歴史から何を学ぶか-	9
佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ	9
佐倉学入門講座 佐倉道を学ぶ	10
佐倉学入門講座 成田道を歩く	10
4. 団体育成事業	11
第47回志津公民館祭	11
定期利用サークル運営研修会	11
調理室利用サークル懇談会	11
志津ジュニア・リーダース・クラブ(志津JLC)支援	11
志津地区の子ども会育成活動	11
公民館園芸ボランティア団体 志津園芸サークル「花の輪」への支援	11
公民館インターネット抽選申込体験	12
5. 広報・展示事業	12
志津公民館だより「しづ」の発行	12

白井公民館

白井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
おはなし会	6
ストリートオルガンコンサート	6
2. 青少年教育事業	6
バックステージ・ツアー	6
夏休みの工作 スカイスクリュー	6
小6理科実験室	6

こどもコマ大戦	6
3. 成人教育事業	7
佐倉学体験講座「バスハイク」	7
佐倉学専門講座「千葉臼井家譜」刊行記念～秀胤と臼井氏～	7
佐倉学リレー講座「佐倉歴史の道」	7
ちょっといいとこ見て歩き	7
防犯講座	7
4. コミュニティ事業	8
コミュニティカレッジさくら	8
5. 団体育成事業	8
臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）	8
6. 広報・展示事業	9
臼井公民館だより	9
まちづくり資料室の展示	9
サークル展示活動支援	9
7. 図書事業	10

1. 佐倉市の公民館



2. 令和2年度 教育目標

〔基本理念〕（佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“佐倉のひとづくり”

〔めざすべき佐倉市民像〕（佐倉教育ビジョンより）

- (1) 思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
- (2) よく学び、自ら考え、進んで行動する人
- (3) 佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（佐倉教育ビジョンより）

- [1] 子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
- [2] 子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
- [3] 市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
- [4] 佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和元年度施策の主な成果〕

令和元年度は、『佐倉教育ビジョン（後期）推進計画（平成28年度～31年度）』の最終年として、令和元年度末の達成目標に向けて、着実かつ効果的な事業展開と教育内容の充実に取り組みました。

施策の主な成果について、佐倉教育ビジョンの重点事業から特色のあるもの、新たに取り組んだ事項などから、主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- (1) 児童生徒の登下校の安全確保のため、警察・道路管理者と対策を検討し、改善を図りました。また、スクールガードフォーラムを開催し、地区情報交換会の実施や地域の見守り活動等の取組を推進しました。各学校で開催する教育ミニ集会においても、防犯の取組状況等をテーマにするなど、地域の方々とともに子供の安全に関する理解を深め、意識を高めました。
- (2) 地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、まちづくりに参加できる人材を育成するため、「コミュニティカレッジさくら」を開講し、41名の学生が学習に取り組みました。地域づくりのリーダーを目指し、社会の現状と課題について学びました。

- (3) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施しました。調査結果をもとに各研修会で基礎学力及び活用力向上のための指導・助言を行いました。また、過去3年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。
- (4) 児童生徒の基礎学力の定着を図るため、「好学チャレンジプリント」及び「好学チャレンジテスト」を作成し各学校へ配信するとともに、学校以外でも広く活用してもらえるよう、市のホームページにも掲載しました。また、夏季休業中に全小中学校及び全公民館、千葉敬愛短期大学で「好学チャレンジプリント」等を活用した「好学チャレンジ教室」を開催し、補充学習等に取り組みました。
- (5) 【拡充】全小中学校に派遣している外国人英語指導助手を2名増員し、日本人教諭の指導力向上と外国語の教科化等に向けた学習指導内容の充実を計画的に進めていくとともに、外国語活動の授業や国際理解教育を推進しました。
- (6) 教育委員及び教育委員会職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てました（小学校4校、中学校2校で実施）。
- (7) 道徳教育推進事業について、佐倉学道徳教材及び指導案を次期学習指導要領の内容と合致させるため、改訂に向けた検討を行いました。また、平成29年度末に完成した佐倉学道徳教材（6教材）を各学校に配付し、全小中学校で教材を活用した授業を実践することで、地域性を活かした道徳教育を推進しました。
- (8) 事業者の協力による職場体験活動等の実施を通して、小中学生のキャリア教育を推進しました。また、佐倉少年少女発明クラブ員の「少年少女発明クラブ作品展」及び中学生の「科学の甲子園ジュニア」への参加により、児童生徒の挑戦する探求心や創造性を育みました。
- (9) 言語通級指導教室を中心に「インクルーシブ教育システム推進事業」に取り組みました。ことば等発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援が受けられる体制を構築するため、学校支援コーディネーター2名を教育センターに配置しました。
- (10) 平成27年度に策定した「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、全小中学校において定期的な生徒指導会議を開催し、いじめ防止に関する取組について共通理解を図りました。また、条例に基づき設置した「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」及び「佐倉市いじめ対策調査会」を開催しまし

た。加えて、子供の視点からいじめ防止について考えることを目的に、全小中学校の代表児童生徒による「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催しました。さらに、いじめ問題等、生徒指導上の諸問題に対応するため、学校支援アドバイザー5名を各学校へ派遣しました。

(11) 学校だより、給食だより及び献立表等で学校給食について紹介するとともに、全小中学校で「津田仙献立」や「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」などの特色ある給食を実施しました。また、地場産物活用の充実に向けて、給食食材を提供している地場産物生産者との交流会を小学校で行ったほか、佐倉市学校栄養士会による食生活アンケート結果をもとに、「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨しました。

(12) 生活習慣病予防の講演会を開催し、個別相談を行いました。学校薬剤師と連携し、全小中学校でエピペン研修会を開催し、食物アレルギー対応の緊急処置についての理解を深めました。

(13) 「佐倉学」の推進における取組として、学校教育においては、リーフレット「佐倉学がめざすもの」を全教職員に配付するとともに、井野長割遺跡の見学や指導方法の研修会を実施しました。また、佐倉小学校と志津小学校を研究モデル校に指定し、授業公開を通して、指導方法の改善を図りました。

さらに、児童生徒の佐倉学への興味や関心を高め、理解度を測るため、令和元年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生約1,165名が受検しました。

(14) 【継続】国の史跡に指定されてから20周年を迎えた本佐倉城跡について、平成30年度に酒々井町と共催で記念事業（シンポジウム・展示会・現地イベント等）を実施しました。令和元年度は、シンポジウムの開催記録を作成しました。

(15) 【継続】城下町佐倉の祭礼用具の修復、佐倉囃子の普及啓発等を通じて地域を活性化すると同時に、日本遺産のブランド力を高め、交流人口の増加を図りました。

(16) 【新規】「旧今井家住宅」3件（主屋・座敷棟・土蔵）が国登録有形文化財に登録されました。

(17) 佐倉市が大学等と締結している連携協定に基づき、小学生向けに女子美術大学教員・学生によるJOSHIBI ワークショップや日本画ワークショップを開催しました。また、順天堂大学、女子美術大学、東京情報大学、敬愛大学等の教員を講師に迎え、佐倉市民カレッジ公開講座・授業等を実施しました。

- (18) 【継続】平成28年度から計画的に進めている学校体育館の屋根落下防止対策事業について、令和元年度は、井野中学校において工事が完了しました。
また、グラウンド改良事業については、内郷小学校において全面改修を実施しました。
(平成30年度までの実施状況：【体育館屋根落下防止対策工事】小学校3校、【グラウンドの改良工事】小学校2校、中学校2校完了。)
- (19) 【継続】学校の学習環境の向上を図るために進めている普通教室等への空調設備の整備について、市内全ての小中学校及び公立幼稚園への整備が完了し、令和元年9月1日から運転を開始しました。
- (20) 【継続】(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設の整備に向け、令和元年度は、平成30年度に引き続き実施設計を行いました。また、整備予定地の埋蔵文化財調査を行いました。
- (21) 【新規】新たな佐倉の教育の指針となる「第3次佐倉教育ビジョン」を策定しました。策定に当たっては、市民公募委員を含む佐倉教育ビジョン策定懇話会を開催し、意見をいただきながら原案の作成を行いました。

〔令和2年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①英語科授業の充実など、きめ細かな学校教育の推進」、「②安全・安心・良好な教育環境を確保するための学校施設等の整備」、「③社会教育施設の改築等による生涯学習環境の整備」の3点が挙げられます。

また、令和2年度は、『第3次佐倉教育ビジョン（令和2年度～令和13年度）』に基づき、『佐倉教育ビジョン前期推進計画（令和2年度～令和5年度）』を策定します。事業内容の見直しや新たな視点による事業展開などを計画に反映させることにより、佐倉の教育の充実に努めていきます。

(1) 学力向上・学習内容の充実に取り組みます

- ・【拡充】佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語（新たに小学校5・6年でも実施））を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ・夏季休業中に全小中学校及び全公民館、千葉敬愛短期大学で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・外国人英語指導助手^{*1}を全小中学校に派遣し、外国語の教科化等に対応

した教職員の指導力向上と学習指導内容の充実を計画的に進めていくとともに、外国語・外国語活動の授業や国際理解教育の充実を図ります。

- ・ **小学校理科実験支援員^{*2}**を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・ 小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に**学校支援補助教員^{*3}**を1名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。
- ・ 多人数の学級を数多く抱える学校に**学校支援補助教員^{*3}**を配置し、少人数指導等を実施することで、児童生徒個々の習熟度に応じた学習支援を充実させます。
- ・ 教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取組を推進します。
- ・ 新学習指導要領の趣旨を周知・徹底させ、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を図り、教職員の研修を充実させます。
- ・ 教育委員及び教育委員会職員が定期的に学校を訪問し、特色ある教育活動や学校の課題を把握することで、各学校の学校運営や指導方法の改善に役立てます。

(2) 豊かな人間性を育む教育に取り組みます

- ・ 佐倉の伝統や文化を活かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等を通じ、道徳的な判断力や実践意欲を高める教育を推進します。
- ・ 佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」の授業を充実させます。
- ・ 佐倉学事業の充実を図ります。
- ・ 学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・ 児童生徒の体力の現状を分析し、体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・ 学校プール施設を廃止した学校においては、民間と連携し良好な環境の下で安全な指導を行い、小学校学習指導要領での水泳学習の目標を達成させます。
- ・ 児童生徒の生活習慣病予防検診事業を継続するとともに、健康教育を充実させます。

(3) 良好な学習環境を整備します

- ・ **【継続】** 体育館屋根落下防止対策を進めることで、安全・安心な教育環境と避難所の確保を図ります。
- ・ **【新規】** 老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。
- ・ 小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・ 老朽化した給食施設・設備の補修工事を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。

- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・小中学校の校務や授業で使用する情報機器及びソフトウェアの整備・充実を図り、情報教育の推進を図ります。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、**学校図書館司書**^{※10}を全小中学校へ派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。（11名の司書がそれぞれ3校または4校を担当）
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に**特別支援教育支援員**^{※4}を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。
- ・インクルーシブ教育システム推進事業として、ことば等発達に課題のある幼児児童生徒への合理的配慮に基づく適切な支援体制を構築するため、**学校支援コーディネーター**^{※5}を派遣するなどの取組を進めます。

（４）地域に開かれた学校運営を行います

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、学校を拠点とした地域づくりを進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取組を推進します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるよう、通学路等の安全の確保に努めます。

（５）安心して学校に通える環境を提供します

- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、**学校支援アドバイザー**^{※9}を巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、**学校教育相談員**^{※6}・**心の教育相談員**^{※7}を配置するとともに、スクールカウンセラー^{※8}や各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
- ・市立幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。また、預かり保育・園庭開放等を実施し、幼児教育の拡充を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。

（６）市民の生涯学習を推進します

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。
- ・生涯にわたる学びを支援できるよう図書館活動を充実させます。

- ・佐倉学リーフレットを配布し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場として開設している佐倉市民カレッジを運営します。
- ・地域人材の育成を図るための学習の場であるコミュニティカレッジさくらを運営します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

(7) 生涯学習の環境を整備します

- ・【継続】(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設について、施設新設工事等を進めます。

(8) 歴史・文化資産を保全・活用します

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。

(9) 芸術文化の普及を推進します

- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施を通して、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。

○学校等へ配置する補助教員等の人数

(令和2年度)

※1	外国人英語指導助手	19人	※5	学校支援コーディネーター	2人
※2	小学校理科実験支援員	1人	※6	学校教育相談員	10人
※3	学校支援補助教員 (小規模特認校2人・ 少人数指導支援3人)	5人	※7	心の教育相談員	8人
			※8	スクールカウンセラー	14人
			※9	学校支援アドバイザー	5人
※4	特別支援教育支援員	54人	※10	学校図書館司書	11人

※8は、千葉県教育委員会が配置する者。

※8以外は、佐倉市教育委員会が委嘱・雇用する者。

3. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（期間 令和2年7月1日～令和4年6月30日）

氏 名	所 属 等	備 考
金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校長	
三村 宏治	佐倉市立志津中学校長	
平野 一久	佐倉市立下志津小学校長	
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
松崎 裕美子	人権擁護委員	
岩波 二三子	学識経験者	
藤崎 言行	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
林 義之	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
浅野 俊雄	学識経験者	
吉光 孝一	公募	
田渕 敦子	公募	
池田 孝子	公募	
片山 喜久子	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成18年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成27年3月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成28年4月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から5分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 佐倉地区：面積 約20.6km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 佐倉地区：住基人口 28,057人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 佐倉地区：人口密度 1,361人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

- (1) 施設の提供（団体、グループ単位）
 - ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
 - ② 利用区分 1時間単位
 - ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

- (2) 備品の提供（団体、グループ単位）
館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	6,265	5,930	5,364	4,720	1,649
利用人数 (人)	110,218	103,212	104,261	90,628	25,061
開館日数 (日)	333	333	333	318	272

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 3 1 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 3 0 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～1 0 月 3 1 日・・・一般利用（利用制限付き）

1 1 月 1 日～令和 3 年 1 月 2 2 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

（1 月 8 日～1 月 2 2 日は緊急事態宣言により開館時間は午後 8 時まで）

1 月 2 3 日～3 月 2 2 日・・・行政利用及び健康診断等必要緊急な事業のみ

3 月 2 3 日～3 月 3 1 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,000	1,012	33.7%
研修室 1	2,559	429	16.8%
プレイルーム	2,563	33	1.3%
研修室 2	2,564	440	17.2%
研修室 3	2,566	478	18.6%
調理室	0	0	0.0%
和室	2,558	306	12.0%
会議室	2,555	453	17.7%
アトリエ	2,562	475	18.5%
工芸室	2,555	272	10.6%
学習室 1	2,630	741	28.2%
学習室 2	2,611	524	20.1%
学習室 3	2,798	1,254	44.8%

領域	事業名	対象	期間・人数	内容
家庭教育	2・3歳児親子運動教室	2・3歳児と保護者 15組	2月 4回	マッサージ、視覚反射ゲーム、マット体操、手遊びなど、運動を通して幼児の健やかな体と豊かな感受性や好奇心を育む。
	家庭教育共通講座 「親子で食育講座」 (仮称)	小学生と親10組 ※多数時男性保護者優先	2月 1回	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、男性保護者優先とする。
青少年教育	子どもゼミナール	小学5年生から 一般市民 10人	10/24 9人 10/31 5人 11/7 7人	宇宙などの科学について専門の講師を招き少人数制のゼミ形式で学んだ。
成人事業	地域づくり講座	成人 20人	11月 1回	地域人材による講習会を行ない、地域へのつながりと興味を深める。
	健康増進教室	成人 30人	10月～2月 2回	介護予防に関する心身の健康に必要な方法や、家庭における健康管理に資することを学ぶ。
	千葉県文書館出前講座 「江戸時代の武家と行列」	成人 20人	12/24 22人	江戸時代の佐倉藩主堀田家など房総地域の大名に焦点を当て、参勤交代などから、行列の実態に迫る。
	佐倉市民カレッジ	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をおとした生涯学習の場とする。「 <u>「</u> であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会を提供する。
	《 <u>「</u> であい課程》 第1学年	成人 100人	5月～2月 61回	
	第2学年 2年間の学習コース	第2学年		
	《 <u>「</u> 専攻課程》 第3学年	成人 76人	5月～2月 65回	
	第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース)	第3学年		
	あったか福祉コース	成人 87人	5月～2月 41回	
	ふるさと歴史コース	第4学年		
	さわやか情報コース	成人 91人	5月～2月 43回	
	ゆっくり元気コース			
	佐倉学講座 「 <u>「</u> 印旛沼」(仮称)	成人 50人	9月～12月 1回	
佐倉学講座 ・ユーチューブ配信 成田参詣記にみる白井・佐倉 ・城下町新町散策	成人 講座 20人 散策 各 20人	講座は3月24日から配信		
佐倉学講座 「 <u>「</u> 古今佐倉真佐子」 関連事業	成人 80人	未定 講座・散策		
佐倉学講座 ユー チューブ配信 野村胡 堂『町人十萬石』	一般	2月12日から配 信		
佐倉学講座 ユー チューブ配信 野村胡 堂『町人十萬石』番外 編 野村胡堂『町人十萬 石』が佐倉市民カレ ッジ卒業生「いーな会」 有志により復刻される まで	一般	2月19日から配 信		
印旛沼公開講座 (生活環境課共催事業)	成人 90人	11月～12月 3回		

領域	事業名	対象	期間・人数	内容
団体育成	佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 なし	活動休止	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加する。
	佐倉民話を語るボランティア派遣事業	市内小学校	随時 2校より依頼があったが全て中止	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
	中央公民館利用グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	3月 1回	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	12月 2回	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供した。
	SNS	市民	随時	ツイッター及びフェイスブックを用い、中央公民館の活動や施設の情報を発信した。
	ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」	市民	随時	公民館などで提供している生涯学習に関する講座、中央公民館の活動、施設の情報をインターネットで動画配信した。
視聴覚ライブラリー事業	親子映画会	小学生・幼児と その保護者	未定	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *16ミリフィルム462本、ビデオ教材1369本、DVD教材202本（ニーズと公益性に配慮して更新・購入予定）

1. 家庭教育事業

2・3歳児親子運動教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

家庭教育共通講座「親子で食育講座」（仮称）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和2年度は、ロケットと天体の2つに的を絞って講義を行う。
- ②募集対象 小学5年生から一般市民 各10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月24日（土） 18：30～ 20：00	天体望遠鏡で星空観察！ 星座について座学で学ぶ。また、 天体望遠鏡で星を実際に観察する ことで、星がどのように見えるの か学ぶ。	芳野 雅彦
2	10月31日（土） 14：00～ 15：30	バンバンロケット（バルーンロケッ ト）を飛ばそう バンバンロケット（バルーンロケッ ト）を飛ばして、ロケットの構造と 飛び方（航空力学）を学ぶ。	NPO法人宇宙アドバ イザー協会副代表理事 大嶋 龍男
3	11月 7日（土） 18：30～ 20：00	天体望遠鏡で星空観察！ 星座について座学で学ぶ。また、 天体望遠鏡で星を実際に観察する ことで、星がどのように見えるの か学ぶ。	芳野 雅彦

- ④講座を終えて 今回は新型コロナウイルスの影響により、募集人数を大幅に減らして募集したが、定員に満たなかった。新型コロナウイルス感染防止のため、こまめな消毒、座席の間隔を空けることで、感染を予防した。
天体望遠鏡での星空観察について、1日目は、天候に恵まれ、星を見ることができた。参加者の多くが様々な星を見ることができて、興味をもって講座に参加できたと思う。しかし、2日目は雨天であったため、星空観察ではなく、講義形式の講座になった。参加者によるアンケートの結果、講義の内容が小学生には、難易度が高かったと思われるため、翌年度は小学生でも楽しく学べる内容とするために講師と打合せをする必要があると思った。
バンバンロケットは、少人数の参加であった。手でロケットを的に当てることに、苦勞している参加者が多かったが、楽しみながらロケットを工作していたと思う。

3. 成人教育事業

地域づくり講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

健康増進教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

千葉県文書館出前講座 歴史講座「江戸時代の武家と行列」

①開設趣旨 千葉県文書館から講師を派遣する出前講座。江戸時代の房総地域の大名行列の実態を学習することで、参加者が自分たちの住む地域や学んだ事柄に関心を持ち、地域に関する学びを深めるきっかけを作る。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月24日（木） 10:00～12:00	江戸時代、武威を象徴するものであった大名行列について、佐倉藩主堀田家をはじめとした房総地域の大名に焦点を当て、参勤交代や格式などから、行列の実態に迫る。	千葉県文書館 小池 駿介

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を少人数に絞り、会場に消毒液を設置し、参加者にマスク着用を義務づけ、さらに人同士の十分な距離を取った上で開催した。

参勤交代の事情（使用した街道、宿場）、大名行列の実際（道具類など）が主な内容であり、講師からの配布資料も分かりやすく、参加者からも大変好評であった。令和2年度はコロナ禍の中、開催できる事業が非常に少なく、市民にとって貴重な学びまたは楽しみの場となったようである。

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座「印旛沼」（仮称）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座 ユーチューブ配信 成田参詣記にみる臼井・佐倉

①開設趣旨 講師がフィールドワークによって得た知識と、豊富な歴史資料などから解説を行う講座である。毎年貴重な史料を元に講義を行い、より深い佐倉の歴史を学ぶ。

②対象 一般

③プログラム

回	配信開始日（曜日）	学習内容	講師
1	3月24日（水）	講演「成田参詣記にみる臼井・佐倉」	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一

- ④講座を終えて 緊急事態宣言の発令により、公開による講義ではなく、動画による配信に変更になった。毎年多くの聴講希望者がいるため、動画配信での公開になったのは残念だったが、講師の工夫により、丁寧な講義で分かりやすい内容だったと思う。

佐倉学講座 城下町新町散策

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座「古今佐倉真佐子」関連事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座 ユーチューブ配信 野村胡堂『町人十萬石』

- ①開設趣旨 緊急事態宣言下で館内で講座を開くことができないため、無観客にて佐倉の文学に関する講義を行い、動画で配信した。
- ②視聴対象 一般
- ③プログラム

回	配信開始日（曜日）	学習内容	講師
1	2月12日（金）	『銭形平次捕物控』の作者として知られている野村胡堂が天明期の印旛沼開発を舞台として描いた痛快時代小説『町人十萬石』についての講義。	高比良 直美

- ④講座を終えて この講座は、数年前に中央公民館で一般向けに実施した講座を、今回、改めて撮影し中央公民館の生涯学習チャンネルで配信したものである。野村胡堂『町人十萬石』の内容を丁寧に説明した講義内容となっており、視聴回数は280回を超え、現在も増え続けていることから関心の高さが伺える。

佐倉学講座 ユーチューブ配信 野村胡堂『町人十萬石』番外編

野村胡堂『町人十萬石』が佐倉市民カレッジ卒業生「いーな会」有志により復刻されるまで

- ①開設趣旨 佐倉学講座として配信した講座の番外編。
- ②視聴対象 一般
- ③プログラム

回	配信開始日（曜日）	学習内容	作成者
1	2月19日（金）	市民カレッジ卒業生の協力のもと、『町人十萬石』を復刻したエピソードについて動画で紹介した。	佐倉市民カレッジ卒業生のサークル「いーな会」有志

- ④講座を終えて 佐倉学講座 ユーチューブ配信 野村胡堂『町人十萬石』の番外編として、中央公民館の生涯学習チャンネルで配信。今回、高比良先生や「いーな会」が復刻した『町人十萬石』が完成するまでの過程を追ったものであり、その過程もさることながら、市民カレッジ生の卒業後の活動も紹介することができた。視聴回数は170回以上となった。

印旛沼公開講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区子連の備品の貸出は事務局が対応している。

佐倉民話を語るボランティア派遣事業

- ①開設趣旨 佐倉学関連事業の一環として、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供する。それとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、「語りべの会 さくらっ古」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべの派遣や佐倉こどもかるた普及を通して、郷土愛を育むことを目的とする。
- ②対象 市内小学1年生～6年生
- ③開催期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日
(2校より依頼があったが新型コロナウイルス感染状況により中止)

グループ懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

調理室利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
URL : http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/16-1-0-0-0_1.html
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・『なかま』『佐倉市民カレッジ情報紙「カレッジ・インフォメーション」』等、中央公民館発行の広報紙
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
 - ・新型コロナウイルスの感染状況に関する情報
 - ・新型コロナウイルス感染防止のための利用案内及び開館状況に関する情報
- ④展望 市の広報紙を見る機会のない方にも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響による開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった人たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や閉館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
ツイッターアカウント名 : @sakura_chuokou
フェイスブック :
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト（ツイッターでは140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
 - ・『なかま』等の発行物のお知らせ
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者は年々減少している。その原因として、これまで公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないことが考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった人に情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設する。そのことによりリモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC__Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q/featured

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）

- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取り扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 新型コロナウイルスの流行により対面講座の実施が難しい中、ユーチューブ等を活用することで、公民館に来られない人へも学習の機会を提供できることがわかった。今後はコメント機能を活用するなどし、講師と受講者が意見交換ができる場をオンライン上でも実現したい。

また、資料の撮影方法に課題は残るが、歴史講座等は繰り返し見ることのできるリモート受講に適していると感じた。今後も多くの講師と協力し、より多くの佐倉の知識、文化のアーカイブ化を実現したい。

6. 視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー
 - ・16ミリ映写機 ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ
 - ・16ミリ映画フィルム ほか
- ④展望 機材の修繕を適切に行いつつ、市民のニーズに沿い、かつ、市民の教養を深める教材の購入を進めていく。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,706人、世帯数は762世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和3年3月末現在】

○和田地区：面積 約14.4km² （佐倉市：面積 103.69km²）

○和田地区：住基人口 1,706人 （佐倉市：住基人口 173,216人）

○和田地区：人口密度 118人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4は休館

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年2回発行

5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	620	627	613	491	89
利用人数 (人)	8,060	7,345	6,875	6,451	591
開館日数 (日)	333	333	333	307	230

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 30 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～10 月 31 日・・・一般利用（利用制限付き）

11 月 1 日～1 月 22 日・・・〃（一部利用制限付き）

1 月 23 日～3 月 22 日・・・行政利用のみ

3 月 23 日～3 月 31 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	2,055	59	2.9%
調理実習室	2,056	71	3.5%
団体室	2,053	23	1.1%
会議室	2,063	151	7.3%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 1 月 8 日～2 月 7 日・・・開館時間を 20 時までに短縮

～ 事業実施に向けて 健康と安全を最優先に集団感染リスクを回避 ～

令和2年度の事業計画は、令和元年度第3回公民館運営審議会において「令和2年度事業計画案」についてご審議をいただいたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下表の線引き事業は中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	8月～12月 5回 12月 1回	幼児期における重要な学習機会、遊びや育児の環境の場を提供するなかで、子育てに役立つ情報等も発信していく。また地区子育て支援サークルとの共催を図ることで仲間づくり、コミュニケーションを深める機会とする。コロナウイルス感染症拡大防止のため教室は実施せず。ただし、和田地区在住（1歳から4歳）幼児のいる家庭向けにクリスマスと新年に向けて、時節の手紙を送付した。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	前期・後期各1回	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
青少年教育	剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～3月 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行う事が出来た。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬 1回	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	8月 1回	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	10/24 9人 11/7 7人	中央公民館との共催事業であり、10/24、11/7の星空観察は和田ふるさと館で行った。専門講師のゼミ受講後、駐車場 ^パ ースにおいて星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	12/16 22人	芸術鑑賞等の様々な機会を通して、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらう意図で実施。 ・佐倉ゆうゆう塾講師から季節に合う話を、一緒に身体を動かしながら楽しく聴くことができた。コロナ禍において行事が少ないため、保護者からも喜ばれた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	10月～2月 3回	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	1年 2回	創造力をはぐくむ講座。（手工芸、凧作りなど、身近で親しみやすい伝統文化の体験学習を予定）
	成人教育	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【太巻き祭り寿司、和田の新鮮野菜料理（大和芋）、蒟蒻作り体験】

領域	事業名		対象	期間・回数	内容
成人教育		佐倉学講座 地域学	市内の成人 10人	8/ 8 6人 9/26 7人 11/ 1 6人 1/16 6人	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は地元公民館運営審議会委員による「縄文・弥生期の地域」の講義を実施した。 ・9月は佐倉野草会会長のご指導により、谷津田生態観察の講義を行った。 ・11月は佐倉市文化財審議員の指導のもと、地元のお寺において「中世の和田地域」を学習した。 ・1月に弥富地区の歴史、自然、文化等についてふるさと弥富を愛する会事務局長より講義を受けた。これらの内容は、CATVチャンネル等で放送された。
	和田市民大学	手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	7/ 3 6人 9/ 4 5人 10/ 2 6人 11/ 6 6人 12/ 4 5人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図ることを目的として開催した。また8月に受講生により、再利用を通じて物を大切にする心を子どもたちに指導する教室を予定していたが、感染症拡大予防のため中止。
	和田市民大学	和田工芸講座	市内の成人 10人	8/ 1 12人 9/ 5 12人 10/25 11人 12/20 中止 2/ 7 中止	<ul style="list-style-type: none"> ・地元陶芸家を講師として招き8月～10月にて陶芸作品づくりを連続で行った。 ・12/20しめ飾り講習会は感染症の影響を考慮し中止。 ・2/7ストラップミニ草履教室も感染症の影響を考慮し中止。
		地区交流会	地区の成人 40人程度	3月1回中止	地区の高齢者をはじめ多様な世代が、地域交流を図る事を趣旨としてバス見学会を実施する。感染症の影響により中止。
成人教育	和田地区防災講習会		地区の成人 30人程度	1/31 中止	市・危機管理室より、防災に係る講話を行う。感染症の影響により中止。
	合同研修会		地区内の住民団体	11/29 中止	人口減少・少子高齢化などの地域課題などに対応するため行う研修会。感染症の影響を考慮し中止。
団体育成	団体育成事業		和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議等	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が円滑に活動できるよう、協力支援する。
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	年2回発行 ・5月 ・11月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年 11月～12月	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示 ・毎年11月に実施している公民館文化展は、新型コロナウイルス感染症を考慮して同時に行う地域まつりと共に中止とした。 ・11月17日～12月27日に、開館20周年を記念して和田地区歴史民俗資料展「和田口伝の機織り～女性活躍社会に向けて～」を開催した。来場者は443人。
		見学	市内小学校・ 一般団体等	通年	市内小学校社会科見学の際に解説を行う。
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

1. 家庭教育事業

子育て教室

- ①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識習得の機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮する。
- ②募集対象 2.3歳児と保護者
- ③プログラム 8月～12月 5回
- ④講座を終えて 少子化の中、和田地区社会福祉協議会内の子育て支援団体と共に手を携え、協力しながら子育て中の親を心身ともに支える時間や場の提供をすることを目的に講座を計画、開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため講座計画・実行を見送った。年度最後に支援団体と共に地域の就学前児童のいる家庭にクリスマスと新年のあいさつ状を送り、来年につなげることとした。

楽しく家庭教育講座

- ①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
- ②募集対象 地区内の幼児及び小学生の保護者等
- ③プログラム 前期・後期各1回
- ④講座を終えて 幼・小和田家庭教育学級と共催で年2回実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和2年5月～令和3年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、江野澤 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑤講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム 10月中旬
- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子供と地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

夏休みおもしろ体験教室

- ①開設趣旨 保護者と地域の協力による自主性、協調性、社会性を高める体験教室
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム 8月 1回
- ④講座を終えて この講座は子どもたちが何に興味・関心があるのかをリサーチし、夏休み期間を使って公民館で様々な体験事業を実施するものである。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々を講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 市内の小学5・6年生 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月24日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家
2	11月 7日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 感染症拡大防止のため、時期・参加人数に配慮した。中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立てることが出来た。また保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まったと思われる。

子ども芸術鑑賞会

- ①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。
- ②募集対象 地区の小学生
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月16日（水） 15:00～15:45	クリスマスお話し会	佐倉ゆうゆう塾 主宰 末吉 正子

- ④講座を終えて 和田公民館において、「ゆうゆう塾」のお話し会は今年で3回目となる。今年度は特に、時期、参加人数、場所等に配慮し開催した。感染症予防策として、例年より広い会場で、児童のソーシャルディスタンスを考慮の上シートをセットし、消毒も徹底、開催時間も短時間とした。講師から季節に合う話をしていただき、一緒に身体を動かしながら楽しく聴くことができた。時節柄、職員がサンタクロースとトナカイに扮装し登場したことで場が盛り上がった。行事がないこの時期に開催したことで保護者にも喜んでいただき、また、地域の方の見学もあった。

佐倉っ子塾 料理教室

- ①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。
- ②募集対象 地区の小学生 各回20人
- ③プログラム 10月～2月 3回
- ④講座を終えて この事業は子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学び、男子児童が一人であっても意欲的に自ら申し込みしてくる事業であることから、毎年、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ①開設趣旨 手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ②募集対象
- ・夏休み編み物体験 地区の小学生 12人
 - ・凧づくり体験 地区の小学生 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月7日（金）	夏休み編み物体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒
2	12月中	凧づくり体験 （六角凧）	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

- ④講座を終えて 「夏休み編み物体験」は、和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

「凧づくり体験」は、ふるさと館にて、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

3. 成人教育事業

佐倉学体験講座 ふるさと味工房

- ①開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図り、食文化の伝承を図る。
- ②募集対象 市内の成人 各15人
- ③プログラム 9月～2月 4回
- ④講座を終えて 平成12年から続いている人気のある講座であり、和田地区の農業の特長を活かし、地元の新鮮な食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となっているが本年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学

- ①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ②募集対象 市内の成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月8日(土) 18:00～20:30	オリエンテーション 縄文・弥生期の地域	和田未来農業研究会 委員 藤崎 言行
2	9月26日(土) 9:15～11:30	谷津田生態観察	佐倉野草会 会長 近藤 維久子
3	11月1日(日) 14:00～16:00	中世の和田と本佐倉城	中世歴史家 遠山 成一
4	1月16日(土) 9:30～12:00	近隣弥富との交流を通して	ふるさと弥富を愛する会 岡本 美典

- ④講座を終えて コロナ対応を図りながら、和田地区の歴史、自然、まちづくりに係る学習講座を実施した。CATVの協力を得ながら、広く発信するよう努めた。

和田市民大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいづくりを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。
- ②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人
- ③実施期間 令和2年7月3日～令和2年12月4日 5回
- ④講座を終えて コロナ対応のため午前中のみの短時間で開講したこともあり、受講生は集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。4月から3月まで11回の開講予定であったが5回実施し、約半数が参加。また、8月の夏休み中における児童への手芸指導は密になるため中止。

和田市民大学和田工芸講座

- ①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。
- ②募集対象 市内成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 1日（土） 9：15～11：30	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	9月 5日（土） 9：15～11：30	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	10月25日（日） 9：15～11：30	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて 「陶芸講座」については、新型コロナウイルス感染症拡大対策を図りながら、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。例年11月に実施の文化展が感染症の影響により、中止となったため、分館である和田ふるさと館歴史民俗資料室に他の企画展と併せて一定期間展示した。

和田市民大学地区交流会

- ①開設趣旨 心身ともに健康で生がいのある生活を保ち、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 地区の成人（子・孫の参加可） 40人程度
- ③プログラム 3月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

和田地区防災講習会

- ①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。
- ②募集対象 地区の成人 30人程度
- ③プログラム 1月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

合同研修会

- ①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。
- ②募集対象 地区住民団体 40人
- ③プログラム 11月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年2回（5月号、11月号）
- 発行部数 各700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。開館20周年記念として、同時期に開催された国立歴史民俗博物館の企画展と並行し、「和田口伝の機織り～女性活躍社会に向けて～」のテーマを掲げて、地区の伝統工芸である「機織り」企画展を行った。
- 期間・回数 開館日数 223日 来館者数 465人

6. 図書事業

図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	10	4	10	0	10	14	2	12	0	12	74
返却数	0	0	26	6	20	22	21	29	5	8	4	131	272

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して715世帯、1,509人が住み、約13.3km²の面積を持つ穏やかな田園地帯となっている。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けており、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館、さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつある。

弥富地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 弥富地区：住基人口 1,509人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 弥富地区：人口密度 113人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

- 開館時間 ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
 ②火～土曜日 午前9時～午後9時
 ※夜間の利用申込が無い場合は、午後5時で閉館

- 休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	1,323	1,326	1,290	981	290
利用人数 (人)	11,082	10,355	13,854	10,603	3,586
開館日数 (日)	333	333	333	309	230

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 30 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～10 月 31 日・・・一般利用（利用制限付き）

11 月 1 日～1 月 22 日・・・〃（一部利用制限付き）

1 月 23 日～3 月 22 日・・・行政利用のみ

3 月 23 日～3 月 31 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	2,467	393	15.9%
中会議室	2,471	399	16.1%
調理実習室	0	0	0.0%
和室	2,470	337	13.6%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 1 月 8 日～2 月 7 日・・・開館時間を 20 時まで短縮

※調理実習室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用無し。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	1～3歳児と 保護者 8組	10月～12月 5回	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	7/4～3/27 26回 7人	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛練するとともに、千葉県指定無形文化財「立身流」を学習した。
	プログラミング体験	弥富小学校児童 5人	未定	2020年に全面実施となる小学校でのプログラミング必修化を受け、プログラミング思考に関心を持つための学習をする。
	星空観察会	小学生と保護者 10組	10/24 22人	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで、天体・科学への興味を育んだ。
	オンラインコンサート in弥富	青少年～成人 動画配信	3/19 160再生	音楽を家族で楽しみ、演奏者と参加者の距離を近づけた舞台を設定することにより、音楽や楽器演奏に興味を持つ機会を作る。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためオンライン配信を行った。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童 40人	10月～2月 4回	自然体験や工作、料理など様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育む。
成人教育	グラウンドゴルフ大会	弥富地区の住民 40人	11/23 47人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と異世代間の交流を図った。
	地域防災講座	弥富地区の住民 40人	10月～2月 1回	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
	刃物研ぎ教室	弥富地区の成人 6人	3/17 1回	失われつつある研ぎの文化を学び、道具を大切にすることを深める。
	健康づくり講座	青少年～成人 動画配信	5/24～5/27 1,780再生	5月下旬に、佐倉市公式チャンネル(YouTube)にて4コースの動画配信を行った。日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図った。
佐倉学	佐倉学入門講座 歴史講座(座学)	市内の成人 24人	10/29 24人 12/ 5 30人	「藩士の執務規則」「佐倉炭」を題材として、地域の歴史について学び、郷土への愛着と関心を高めた。12/5はオンライン(ZOOM)配信も行った。
	佐倉学入門講座 歴史講座(散策) 「弥富の歴史を歩く」	市内の成人 10人	10/15 13人 750再生	岩富城跡・八幡神社・長福寺・熊野神社などの史跡・寺社等を散策し、郷土への興味と理解を深めた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・太巻き祭り寿司 ・布ぞうりづくり	市内の成人 5人	3/25・26 1回 5人	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図り、地域に対する郷土愛を育む。また、地域人材の活用・育成を図った。
団体育成	地域団体支援	弥富地区の住民	通年	ふるさと弥富を愛する会・弥富地区社会福祉協議会・弥富地区青少年健全育成住民会議の活動へ対する協力・支援を行った。
広報事業	公民館だより	弥富地区全戸	5/ 7 700部 9/ 1 700部 1/12 700部	公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行った。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により図書コーナーを充実させ、図書の貸出・返却を行った。

1. 家庭教育事業

親子遊びのつどい

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 弥富剣道教室

①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「立身流」の次代継承と剣道の稽古をとおして、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象 小学生 20人

③期間・回数 令和2年7月～令和3年3月 26回

④学習内容 剣道の技術習得と立身流の基礎の学習

⑤指導者 樫村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順、早川 利矢

⑥講座を終えて 千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、子どもたちの心と体を鍛えることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発出されている期間については事業を中止し、再開の際には全日本剣道連盟が公表した「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に「弥富剣道教室対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を策定し、事業を実施した。

プログラミング体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

星空観察会

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。

②募集対象 小学生と保護者 10組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月24日（土） 18:00～19:30	～月と惑星、夜空を見上げて～	染井野星の会

④講座を終えて 月・土星・木星に焦点を当てた望遠鏡での観察及び肉眼での星座の観察を行った。天候に恵まれ、土星の環や木星の縞、月のクレーターなどを観察し、天体と星空の美しさと宇宙の広がり親子で体感することができた。

オンラインコンサートin弥富

①開設趣旨 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、合唱や吹奏楽など感染リスクが高いとされる音楽活動が制限される中で、オンライン配信により音楽を家族で楽しむ場を提供し、感染のリスクである人との接触を増やすことなく、音楽や楽器演奏に興味を持つ機会とする。

②募集対象 青少年～成人 動画配信

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	動画配信日 3月19日（金）	音楽鑑賞 ・ジュトウヴ ・音楽に寄す ・ふるさと ・浜辺の歌 ・さとやまさくら讃	メゾソプラノ 二瓶 純子 ピアノ 山口 佳子

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止の対策により、公民館を利用する際にはマスクの着用が求められるため、公民館ではなく弥富幼稚園・弥富小学校の協力を得てグラウンドで撮影を行った。

佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

グラウンドゴルフ大会

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の住民
- ③実施日・回数 令和2年11月23日(月) 午後1時30分～4時 1回
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて 多くの高齢者に参加してもらうため地域団体との共催とした。プレーにあたってマスクの着用や消毒など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ、楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流を図った。

地域防災講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

刃物研ぎ教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

健康づくり講座

- ①開設趣旨 新型コロナウイルス感染症による外出自粛が要請される中で、自宅でできる運動方法をオンライン配信で学ぶことにより、感染のリスクである人との接触を増やすことなく健康増進・ストレスケアを図る。
- ②募集対象 青少年～成人 動画配信
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	動画配信日 5月24日(日)	おうちでピラティス ～スマートフォンやパソコンなどによる体のコリやゆがみを改善しましょう～	尾崎 美香
2	動画配信日 5月25日(月)	おうちでピラティスシニア編 ～椅子を使って手軽に体幹を鍛えましょう～	尾崎 美香
3	動画配信日 5月26日(火)	おうちでピラティス中高生編 ～熱量をあげ、体幹を強化しつつ今ある体力を維持しましょう～	尾崎 美香
4	動画配信日 5月27日(水)	おうちでピラティス番外編 ～親子でスキンシップをとりながら運動しましょう～	尾崎 美香

- ④講座を終えて 成人教育としているものの、対象を細分化し、高齢者から中高生・未就学の親子まで幅広いメニューを作成し、撮影を行った。

佐倉学入門講座 歴史講座（座学）

①開設趣旨 高齢者から現役世代成人を対象に地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく講座を開催する。

②募集対象 市内の成人 24人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月29日（木） 10：00～11：30	藩士のルールとワークライフスタイル ～藩社会の執務規則（関宿藩の生活と仕事を事例に）～	千葉県文書館 浪江 健雄
2	12月 5日（土） 14：00～15：30	佐倉炭について学ぶ ～弥富地区との関連も含めて～	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋 雅人

④講座を終えて 今年度は新型コロナウイルス感染症への対応を考慮する中で、参加人数を制限するとともに、密接な関係性を築くことを意図する連続講座を見送り、単発の歴史講座として実施し、2講座目はオンライン配信をも同時に行った。

1講座目は、江戸時代の藩士たちがどのような規則のもとで生活していたかをテーマとして、県内他藩の例ではあるが、関連して佐倉市・地域における藩制社会への興味を高める契機とした。

2講座目は、近世後期から弥富地区において様々な商品の生産・販売・流通を行っていたが、良質な炭として使用される「佐倉炭」も主力商品であった。弥富地区において縁の深い佐倉炭について学び、当時の生活への理解を深めることで、地域への愛着と関心を高める契機とした。

佐倉学入門講座 歴史講座（散策）

①開設趣旨 弥富地区の史跡を散策、見学し、ふるさとへの関心と誇りを高め、現地の散策を通して郷土を学ぶ機会とする。

②募集対象 市内の成人 10人 動画配信

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月15日（木） 9：00～11：45	弥富の歴史を歩く	行政管理課 市史編さん担当

④講座を終えて 岩富・岩富町に点在する城跡・寺社を散策し、その歴史を学ぶことにより、ふるさとへの関心と誇りを高め、郷土について学んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、参加人数を制限するとともに、散策内容の動画をオンライン配信し、参加できなかった人の学習機会及び、広く地域の歴史を紹介する機会とした。

佐倉学体験講座 「くらしの講座」

布ぞうりづくり講座

- ①開設趣旨 昔から伝わるぞうりづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 市内の成人 5人
- ③実施日・回数 令和3年3月25日（木）、26日（金）
午後1時～午後5時 1回
- ④学習内容 布ぞうりづくり
- ⑤講師 三須 幸子、大西 ヤス
- ⑥講座を終えて 例年は昼食をはさみつつ、午前・午後通して事業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、公民館では飲食を伴う活動を制限しているため、今年度は午後の時間を2日使って事業を実施した。地域の方を講師として迎え、世代間・地域間の交流を図った。

4. 団体育成事業

ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
2. 自然環境保全事業として「ホテルの里づくり」や「ビオトープ整備」等を実施する。
3. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」の継続実施や、歴史文化事業を実施する。
4. 健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を実施する。
5. 安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
6. 広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

5. 広報事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
- 発行回数 年3回（5・9・1月号）
- 発行部数 700部/回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われる。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなる。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km²、人口は14.7%に当たる25,513人であるが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 根郷地区：面積 約17.5km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 根郷地区：住基人口 25,513人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 根郷地区：人口密度 1,457人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部利用制限付き開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

施設利用

開館日・開館時間

①日曜・月曜・火曜・祝日 9時～17時

②水曜～土曜 9時～21時

※17時以降の施設利用がない場合は17時まで

利用区分 1時間単位（9時～21時）

休館日 第2・4月曜日、年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	3,422	3,416	2,972	2,547	630
利用人数 (人)	37,381	33,794	33,257	27,829	4,673
開館日数 (日)	333	333	332	309	239

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 30 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～10 月 31 日・・・一般利用（利用制限付き）

11 月 1 日～令和 3 年 1 月 22 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

1 月 23 日～3 月 22 日・・・行政利用のみ

3 月 23 日～3 月 31 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	2,351	217	9.2%
学習室 1	2,369	541	22.8%
学習室 2	2,314	375	16.2%
プレイルーム	2,311	222	9.6%
調理室	2,326	85	3.7%
和室	2,311	221	9.6%
集会室	2,343	377	16.1%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 1 月 8 日～2 月 7 日・・・開館時間を 20 時まで短縮

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2・3歳児と保護者 30組 (15組×2コース)	【前期】 5/9～7/2 全10回 【後期】 9月～11月 全10回	全12回の講座の前半6回は、親子で一緒に絵本・手遊び・工作等を楽しみ、後半6回は体操を中心に に行い、幼児の様々な発達を促した。 また、家族の参観日を前期後期それぞれ2回設 け、保護者だけでなく、家族ぐるみの交流も図っ ている。
	親子体験教室	4歳～小学生及び 保護者 各10組	5月～12月 2～4回	さまざまな体験活動を通じて、親子の交流を図 る。 ・寄せ植え体験等
	ちば探訪	小学生と保護者 10組	7月 1回	ちばをテーマに、自然や史跡、文化等を親子で訪 ねて学ぶ。郷土を再発見することにより郷土愛を 高める。
	こども工房	家族とつくる クリスマス木エ クラフト こどもと家族 5組 家族とつくる 木工クラフト こどもと家族 6組	12/20 大人 6人 こども 8人 3/7 大人 1人 こども 1人	こどもとその家族で行うワークショップを通じて 豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の 教育力の向上を図った。
青少年教育	根郷防災キャンプ	根郷・寺崎・山玉 小学5・6年生30人	7/14～7/15 (1泊2日)	自然災害に対する知識や災害時の対応について意 識や関心を高めるため、根郷公民館を避難所に想 定した体験的な防災教育(生活スペース作り・ボ ランティア等によるレクリエーション・地震体験 等)を行う。また、異年齢の子どもたちが親元を 離れ、共同生活を体験することで、自主性・協調 性などを高め、生きる力を育む。
	子ども体験講座	おもしろ 科学実験隊 小学4～6年生8人	1/23 1人 1/30 1人 2/6 1人	液体窒素や偏光フィルムを使った、理科に親しむ 実験を行う。
		絵画教室 小学3～6年生15人	7月 1人	「指で描こう」をテーマに紙粘土を絵画材料とし た作品を制作する。
佐倉学	佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども 水辺探検ツアー	小学生 20人	7/28 1人	生活環境課と共催。印旛沼等の自然環境やその他 の自然体験学習により、環境への意識を育む。
根郷寿大学	根郷寿大学	60歳以上 130人	5月～3月 11回	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等の幅 広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を 目的とし、また、受講者同士の交流も図る。 ①歴史・文化(佐倉の歴史等) ②健康づくり(生活習慣病予防講座) ③社会現象等(社会見学等)
	(市民公開講座) 生活習慣病予防講座	成人 20人	6月 1回	生活習慣病予防のため、日常生活の中で実践でき る予防法を学ぶ。 (市民公開講座として開催)
成人教育	シニアのための 健康づくり講座	成人 各回15人	A11/ 4 15人 11/18 14人 B11/11 10人 11/25 15人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的と して、日常生活の中で簡単にできる有酸素運動等 を中心に健康体操を実践した。
	パソコン広場	成人 各回20人	4月～3月 第2日曜日	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者 に持ち込みパソコンの操作等に関する疑問を解決 する場を提供する。
	シニア向け初めての スマートフォン教室	60歳以上 15人	9/29 15人	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どう したらよいか。KDD I(株)社員を講師に、理解を 深めた。
	珈琲学入門講座	成人 10人	10月 1回	人々の暮らしに潤いを与える至福の一杯、珈琲の 基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技 術等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	はじめてのハンギングバスケット講座	成人 10人	6/9 1人 12/9 1人	季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作する。
	クリスマスコンサート	小学生 60人 一般も参加可	12月 1人	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。根郷地区で活動を行っている佐倉ウィンド・アンサンブルによるコンサートを行い、音楽に親しむ機会を提供する。
	製本講座 手製本でつくるマスクケース	成人 10人	12/ 5 8人	お気に入りの布を使って、手製本の技法で自分だけのマスクケースを作り、「ものづくり」の楽しさを再認識し、暗くなりがちなコロナ禍の中でもできることを見つけ生活を豊かにする機会を提供した。
	園芸教室	体験 成人 各15人	5月～12月 計9回	佐倉ハーブ園と連携し、園芸教室を開催する。 〔体験教室〕 ・5月 春のハーブ寄せ植え体験 ・7月 ブルーベリー摘み (2回) ・11月 クリスマスアレンジメント作り (2回) ・12月 お正月飾り作り (2回) ・3月 初夏まで楽しめる寄せ植え体験 (2回)
	防災講座	成人 30人	7月 1回	地域住民の防災意識の向上させることにより、地域の防災力を強化する。(根郷防災キャンプと一緒に実施)
	千葉県文書館出前講座	千葉県における電気事業の変遷と発展 成人 30人	1/22 1人	明治期から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていったか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では生活に欠かすことのできない電気事業の歴史について学び、地域への理解を深める。
佐倉学	佐倉学入門講座	写真にみる佐倉の近・現代 成人 30人	2/19 1人	明治～昭和の佐倉の移り変わりをわかりやすい写真から学ぶことで郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とする。
		衛生行政のはじまりと伝染病予防対策 成人 30人	3/ 4 1人	明治初期から新たに布かれた衛生に関する制度や伝染病予防方法と、その当時の地域の人々の様子を学ぶことで郷土への愛着と理解を深める。
		根郷ふるさと探訪 成人 各10人	秋の野草観察会 10/17 1人 雨天中止	根郷地区を散策しながら、秋の野草を観察し自然に親しむ。
			寺崎散策 11/ 8 1人	根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。
		春の野草観察会 3/ 6 1人	根郷地区を散策しながら、春の野草を観察し自然に親しむ。	
佐倉学体験講座 伝統の根郷産 こんにゃく作り体験	成人 20人	1月～3月 1回	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。地元根郷地区の食材を使用してこんにゃく作りを行う。	

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	「根郷地区青少年育成住民会議」、「南部地区子ども会育成会連絡協議会」及び各種団体の活動の支援を行った。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	-5月1日-1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺う。また、グループ活動の意義の理解を深める。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	-2月-1回	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺う。衛生環境を徹底するため整理整頓作業を行う。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	-4月15日 10月15日 3月14日 9,500部×2回	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	貸出人数 422人 貸出数 1,073冊 返却数 2,439冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。
その他	卓球室開放	幼児～成人	-4月～3月 第1日曜日 12回	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供する。
	風除室の作品展示	絵画・写真サークル	通年	4団体(ワールサークル、群青会、佐倉写光会、七彩会)に3ヵ月ずつ作品展示を依頼した。

1. 家庭教育事業

親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

親子体験教室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

ちば探訪

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

こども工房 家族とつくるクリスマス木エクラフト

①開設趣旨 木工材料を使って、こどもとその家族で協力しておもちゃを制作する。

ワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。

②募集対象 こどもと家族 5組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月20日(日) 10:00~12:00	親子で、クリスマスにちなんだ木エクラフトづくり	アトリエ そうわーくす

④講座を終えて こどもとその家族を対象にクリスマスにちなんだ木工クラフト講座を実施した。今年度の木工クラフトのテーマは「サンタがきた煙突の家」。

講師が東日本大震災の時、自分にできることを考えて、ティッシュを1枚使うより、必要な分を切って使うトイレットロールのほうが無駄がないのではないかと考えたとのことで、今回作る家の中にトイレットロールを入れ、家の煙突から煙のように紙を出して使用できる作品である。時節柄サンタクロースが煙突によじ登っている様子がかわいらしいクラフトであった。折しも第3波以降のコロナ禍のなか、事業開催できるのか気を揉んだが、当日は全員参加することができた。

今回で3回目を数えるこども工房で、1組を除き初めて参加する方ばかりだったが、年末のあわただしい時間を、家族でクリスマスのクラフトづくりをする時間を楽しんでた。同じ材料で作っても、サンタクロースの表情や、壁にペンで描く絵とか、なぜか一つとして同じものがない。その人だけの作品ができ上がった。

持ち帰ったら、今日来ていない家族に見せて、楽しい時間を分かち合ってほしいと伝えた。

講座終了前には、前列の机にすべての作品を並べ、一つ一つ工夫したところ、気づいたところ、できばえの良いところを講師が取りあげた。例年だと作品を作ったこどもたちも作品の後ろに立ってもらい、感想を発表させていたのだが、今回はソーシャルディスタンスの確保のため、こどもたちは自席で作品を鑑賞した。

講師は参加者とそれぞれの作品を鑑賞する時間を分かち合いの時間として、大切にしている。思いがけない着想を発見し、ほめられたこどもたちも家族と作った世界に一つの作品をあらためて大事に思う時間となった。

こども工房 家族とつくる木エクラフト

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

根郷防災キャンプ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

子ども体験講座 おもしろ科学実験隊

①開設趣旨 子どもたちの五感を刺激する実験をとおして、遊びながら新しい発見をすることで、科学の不思議さ・楽しさに触れてもらう。

②募集対象 小学4～6年生 8人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月23日（土） 13:00～15:00	酸とアルカリ実験－偏光シートで遊ぼう！－	八千代市立大和田中学校 教諭 西澤 保雄
2	1月30日（土） 13:00～15:00	液体窒素を使って超低温（-196℃）の世界を見てみよう！	成田市立成田西中学校 教諭 宮本 利之
3	2月6日（土） 13:00～15:00	鉄は燃えるかな？－使い捨てカイロの仕組みを知ろう－	千葉工業大学 教授 半沢 洋子 他1名

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

子ども体験講座 絵画教室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

根郷寿大学

①開設趣旨 高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。

②募集対象 60歳以上 130人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月15日（金） 9：20～12：00	開講式、オリエンテーション 運営委員の選出、日程説明、 グループ討議（自己紹介、今後の班 活動について）、グループ発表	館長 担当
2	6月17日（水） 9：20～12：00	生活習慣病予防講座 （市民公開講座）	みつば脳神経ク リニック理事長 大木 剛
3	7月17日（金） 9：20～12：00	映画講座	日本アカデミー 賞協会会員 伊東 芳幸
4	8月21日（金） 9：20～12：00	佐倉の歴史（歴史・文化）	市史編さん委員 内田 儀久
5	9月18日（金） 9：20～12：00	長く明るく元気に！（健康づくり）	白井千代田地域包 括支援センター 佐藤 恭之
6	10月21日（水） 8：30～17：00	社会見学	担当
7	11月20日（金） 9：20～12：00	年中行事（和道塾）	「和道塾」主宰 廣瀬 輝子
8	12月18日（金） 9：20～12：00	佐倉の歴史（寿50周年記念）	佐倉藩堀田家 第13代当主 堀田 正典
9	1月15日（金） 9：20～12：00	地域コミュニティ（地方自治）	調整中
10	2月19日（金） 9：20～12：00	調整中	調整中
11	3月19日（金） 9：20～12：00	グループ発表 閉講式	館長 担当

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

(市民公開講座) 生活習慣病予防講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

シニアのための健康づくり講座

①開設趣旨 シニアの世代になっても健康で暮らせるように、生活習慣病の予防に役立つ日常生活の中で簡単にできる運動について学び、シニア世代のQOL（生活の質）の向上を図る。

②募集対象 成人 Aグループ15人、Bグループ15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	(Aグループ) 11月 4日（水） 10:00～11:00	・生活習慣病の予防について ・家でできる柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動について	A F A A 認定 インストラクター 森 たか子
2	(Aグループ) 11月18日（水） 10:00～11:00		
1	(Bグループ) 11月11日（水） 10:00～11:00		
2	(Bグループ) 11月25日（水） 10:00～11:00		

④講座を終えて 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、例年の講義と実技を取り入れた講座は取りやめ、2回の講義形式で、時間は1時間、定員15名で2グループで実施することで感染予防対策を講じながら、30名の方に参加していただける講座とした。

1回目は「健康づくりについて」（基本編）で「自分の身体と向き合いながら、楽しく運動継続しよう！」、「暮らしの中で身体を動かすことを楽しもう！」の2つをテーマに、人生100年時代を、健康を維持し、生活の質（QOL）を高めるために必要な4つの運動（有酸素、筋力、柔軟、バランス）についての講義と、椅子に座ったままできる動きを学んだ。

2回目は、専門編として、なぜ認知症予防に有酸素運動と筋力運動が効果的なのか講義で学び、1回目と同様に、椅子に座ったままできる動きを学んだ。さらに、脳の活性化に効果的であるという「音読」を参加者で行った。

終了後のアンケートでは、「講座に参加して満足18名、やや満足9名」と回答、また、今回の「講座で学んだ運動を日常生活の中で継続していきたい」と答えた方が24名と、受講された方の満足度も高く、一定の効果があったものと考えられる。

講座への参加はきっかけづくりであり、今回の講座で学んだことを日々の生活に取り入れて楽しく運動を継続することで生活の質を高めてもらいたい。人生100年時代と言われている社会では、健康寿命の延伸は大きな課題である。シニア世代が気軽に健康づくりに取り組めるような講座に取り組んでいきたいと考える。

今後は、コロナの時代に参加者が安心して講座に参加できるような実施方法が必要であると考えられる。

パソコン広場

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

シニア向け初めてのスマートフォン教室

- ①開設趣旨 スマートフォンを、安心安全に使うにはどのようにしたらよいか。シニア世代に向け、操作方法や便利なアプリの紹介も含め、理解を深める機会とする。
- ②募集対象 60歳以上 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月29日（火） 13:30～15:30	基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方を学ぶ	KDDI（株）社員

- ④講座を終えて 60歳以上のスマートフォンの購入を検討しているシニア世代の方を対象に一人1台のスマートフォンを操作しながら、スマートフォンの機能、操作方法、アプリの紹介などを中心に学んだ。参加者は60歳代から80歳代で、15名中7名が70歳代、80歳代も4名と高齢の方の参加が多かった。講座終了後に実施したアンケートでは、「楽しかった」と回答する方が多かったが、一方であまり楽しくなかったという意見もあった。また、実際に活用できるかとの質問に対しては、「活用できる」「少し活用できる」と回答した方は11名であった。コロナ禍の中で、様々な生活の場面でスマートフォンが活用されていくことが想定されることや、定員に対して倍近くの問い合わせがあったことなど、住民の本講座に対する必要性が高いことが伺える。

珈琲学入門講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

はじめてのハンギングバスケット講座

- ①開設趣旨 花と緑があふれるまちづくりのため、季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを製作する。
- ②募集対象 成人 10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月9日（火） 9:30～12:00	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを製作する	JHBS ハンギングバスケット マスター遠藤 富士子
2	12月9日（水） 9:30～12:00	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを製作する	JHBS ハンギングバスケット マスター遠藤 富士子

- ④講座を終えて 第1回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止、第2回は講師の都合により中止

クリスマスコンサート

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

製本講座 手製本で作るマスクケース

- ①開設趣旨 お気に入りの布を使って、手製本の技法で自分だけのマスクケースを作り、「ものづくり」の楽しさを再認識し、暗くなりがちなコロナ禍の中でもできることを見つけ生活を豊かにする。
- ②募集対象 成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月5日(土) 9:30~11:30	お気に入りの布を使って、手製本の技法で自分だけのマスクケース作り	手製本工房まるみず 組製本講座認定講師 岩宮 しげみ

- ④講座を終えて 製本講座は今年度で3回目となる。毎年、製本の技法を用いた小物づくりに手芸好きの方が参加し、3回とも参加しているという方もいる。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を10名とし、部屋も一番広いホールで、人と人の接触を避けるため、机1台に一人、机同士の距離をあける、受付時は検温・問診の実施を行うことで参加者の安全に努めた。

参加の申し込みはコロナウイルスの影響で様々な活動が制限されている影響か、直ぐに10名の定員に達した。しかし、申し込み受付から講座実施日までの間に、新型コロナウイルス感染症の拡大が更に広がった影響なのか2名のキャンセルが生じてしまった。

今回は、コロナ禍の中で生活必需品となったマスクケース2種類を作成した。アンケートでは、「コロナで外出ができず、何か講座に参加したかった」「マスクケースを作りたかった」「何か興味を持てるものを求めて」「以前の製本講座で丁寧に教えていただいた、製本講座に感動したから」などの意見があった。また、講座の満足度も8名中7名が「満足」と回答しており、「ものづくり」の楽しさを再認識していただけたのではと考える。コロナ禍の中で人と人の接触が規制され、様々な活動が自粛を求められる今、講座を通じて一人一人が自分にできることを見つけ、豊かに暮らしていただきたいと願い講座を終えた。コロナウイルス感染症拡大の影響により、公民館事業の実施方法等も大きく変わってきた。今後はコロナ禍の中で、いかに感染予防対策を行いながら効果的な事業を実施できるかが課題となってくるものと考えている。

園芸教室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

防災講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

千葉県文書館出前講座 千葉県における電気事業の変遷と発展

- ①開設趣旨 明治から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていったか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では欠かすことのできない電気事業の歴史について学び、地域への理解を深める。千葉県文書館の出前講座として開催する。
- ②募集対象 成人 30人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月22日（金） 10:00～11:30	明治から戦前期までの電気事業史から、千葉県や佐倉市に電気がどのように発展してきたかを学ぶ	千葉県文書館 中臺 綾子

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉学入門講座 写真に見る佐倉の近・現代

①開設趣旨 明治から昭和の佐倉の移り変わりをわかりやすい写真から学ぶことで郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月19日（金） 13:30～15:30	写真集「写真に見る佐倉」を使って、佐倉の明治～昭和の武士の姿、風景、学校、鉄道、印旛沼、連隊、銃後の生活などの移り変わりを学ぶ	市史編さん委員 内田 儀久

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉学入門講座 衛生行政のはじまりと伝染病予防対策

①開設趣旨 明治初期から新たに布かれた衛生に関する制度や伝染病予防方法と、当時の地域の人々の様子を学ぶことで郷土への愛着と理解を深める。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月4日（木） 10:00～12:00	明治以降、町村役場はコレラ・赤痢等の伝染病予防方法をどのように普及し、地域の人々はその内容をどのように知り、習慣として定着させたのかを、残された資料から探る	市史編さん委員 中澤 恵子

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪

①開設趣旨 郷土の歴史・文化・民俗・自然をテーマに学び、散策を交えて、郷土愛を高める。

②募集対象 成人 各10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月17日（土） 9:30～12:00	秋の野草観察会 寺崎地区を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子

2	11月 8日(日) 9:30~16:30	寺崎地区史跡めぐりと寺崎薬師大祭に行こう!	菊地 昭夫 井原 重之
3	3月 6日(土) 9:30~12:00	春の野草観察会 寺崎地区を散策しながら、春の野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子

④講座を終えて 第1回は雨天のため中止、第2回・第3回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉学体験講座 伝統の根郷産こんにゃく作り体験

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

4. 団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

南部地区子ども会育成会連絡協議会

子ども会は、地域の中で異年齢の子どもたちがさまざまな活動を通じて行動することにより、子どもの社会的成長の糧となる活動である。例えば、子ども会での異年齢での活動は、協調性やリーダーシップを、地域活動では郷土愛が、奉仕活動により公共性が、また、創作活動により創造性が育まれるなど、さまざまな活動による効果が期待されている。

根郷公民館を活動拠点とした南部地区子ども会育成会連絡協議会（南子連）は、南部地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く関係諸機関、団体等との連絡調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的に活動を進めている。

例年、子ども会活動に役立つゲーム講習会、交流会や研修などの事業の実施、広報紙「あくていぶ」の発行、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ほとんどの活動は中止となった。

今できる子ども会の活動の話しあいを重ね、広報紙「あくていぶ」の発行やオンラインによる会議を実施した。

定期利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

調理室利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

5. 広報事業

根郷公民館だより

- 趣旨 公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数 年2回（10月15日、3月14日）
- 発行部数 10月15日号 9,500部 3月14日号 9,500部
- 配布方法 各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

6. 図書事業

図書の貸出・返却

- 趣旨 読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図った。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図った。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行った。
- 蔵書数 約3千冊
- 月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	31	0	97	124	130	83	113	89	91	95	111	109	1,073
返却数 (冊)	108	37	168	238	237	202	273	205	245	191	301	234	2,439

7. その他事業

卓球室開放

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

風除室の作品展示

- 趣旨 根郷公民館を利用する絵画・写真サークルに作品を展示してもらうことで、サークル活動の成果の発表の場を提供するとともに館内の美化を図った。
- 展示サークル ワールサークル、群青会、佐倉写光会、七彩会
(正面玄関風除室の壁面に各サークルが3か月ずつ入替で作品を展示)

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和3年3月末現在では、佐倉市の総人口173,216人に対し志津地区の人口が75,867人となっており、その割合は43.8%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和3年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 志津地区：住基人口 75,867人 （佐倉市：住基人口 173,216人）
- 志津地区：人口密度 4,096人/km² （佐倉市：人口密度 1,670人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。

また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

施設利用

開館日・開館時間

日曜・月曜・祝日 9時～17時

火曜～土曜 9時～21時

*夜間の利用申込みが3日前までにない場合は17時まで

利用区分

1時間単位（9時から21時）

休館日

第2・4月曜日

年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	7,068	7,273	7,453	6,888	2,177
利用人数 (人)	92,379	91,992	92,177	85,649	20,134
開館日数 (日)	333	333	333	309	235

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 3 1 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 3 0 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～1 0 月 3 1 日・・・一般利用（利用制限付き）

1 1 月 1 日～令和 3 年 1 月 2 2 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

（1 月 8 日～1 月 2 2 日は緊急事態宣言により開館時間は午後 8 時まで）

1 月 2 3 日～3 月 2 2 日・・・行政利用及び健康診断等必要緊急な事業のみ

3 月 2 3 日～3 月 3 1 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
2 1 0 会議室	2,452	977	39.8%
2 2 0 会議室	2,441	861	35.3%
2 0 1 会議室	2,438	514	21.1%
2 0 2 会議室	2,449	565	23.1%
調理室	0	0	0.0%
3 1 0 会議室	2,433	590	24.2%
和室	2,433	237	9.7%
4 0 1 会議室	2,436	460	18.9%
アトリエ	2,433	614	25.2%
大会議室 A	2,436	935	38.4%
大会議室 B	2,435	785	32.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	2歳児と親の教室 ぼっぼちゃんのお家へいこう	2歳児 と保護者 10組		親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者		子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。
青少年教育	志津子ども教室	小学生	5月～3月 全3回 12/12 21人 12/19 48人 12/19 20 110人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 ・12/12 志津地区に伝わる辻ざり体験 ・12/19 お正月を迎えるミニ門松作り ・12/19.20 凧作り教室 (申込者へ配布のみ)
	「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習	中学生 高校生		青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
成人教育	しづ学入門	成人 44人	5月～2月 19回土曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/1～2/8	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 平均年齢：72.1
	健康とくらし	成人 40人	5月～2月 19回火曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/4～2/4	地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び地域に還元することを図る。 平均年齢：73.2
	趣味道楽入門	成人 45人	5月～2月 19回木曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/13～2/6	空いている時間を有効活用する手段を学びながら、協働しつつ歩んでいける仲間づくりと、学んだことを地域に還元することができる人材育成を図る。 平均年齢：71.9
	おやじの食事学	成人男性 25人	5月～2月 19回土曜日 開講式・記念講演 学習発表・閉講式 講座 6/1～2/8	食生活の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりと地域で活躍するきっかけをつくる。 平均年齢：71.4

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	特別講座 (公開講演会)	成人 30人	8月～2月 4回	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。
	風情のある 寄せ植え講座 (秋・冬)	成人 各10人	10月・12月 各1回 10/7 10人 12/3 8人	コロナウイルス感染症のため、市民の方が心身が疲れ切っている中で、制作を通して心に余裕と潤いを持つひと時とし、きれいなまちづくりの一助とする。
	包丁について学ぶ	成人 6人	12月 1回 12/12 7人	コロナウイルス感染症のため、ステイホーム(在宅)する時間が増えている現状から、料理に興味を持つ方も増えている。料理に欠かせない包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行う。
	佐倉学特別講座	成人 30人	8月～2月 12/5 1回 26人	しづ市民大学の講座や合同講演会を市民にも公開し、だれもが参加できる講座を開催する。 ・百年前に流行したスペイン風邪と佐倉市域の人びと-歴史から何を学ぶか-
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ	成人 15人	11月～2月 全4回 11/4 10人 11/11 9人 11/18 11人 11/25 8人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 11/4 座学 11/11 座学 11/18 現地遺跡見学 11/25 佐倉市立美術館(展示見学・解説)
	佐倉学入門講座 佐倉道を学ぶ	成人 20人	10月～3月 1回 3/18 12人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」について、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 3/18 午前：座学 午後：散策 勝田台～臼井
	佐倉学入門講座 成田道を歩く	成人 10人	11月～12月 全5回 11/19 10人 11/26 10人 12/3 10人 12/10 10人 12/17 予備日	「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的とする。 ・11/19 座学 総論 ・11/26 散策 佐倉新町～京成酒々井駅 ・12/3 散策 京成酒々井駅～公津の杜駅 ・12/10 散策 公津の杜駅～成田山総門
	第47回志津公民館祭	公民館利用サークル 約200団体	10月	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体 育成	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル		調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津JLC)支援	1団体		「志津JLC」が行う各種事業への援助を通じて、JLCの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLCが活動する場とする。
	公民館園芸ボランティア団体 志津園芸サークル「花の輪」への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
	公民館インターネット 抽選申込体験	公民館利用者	12/10~23 延べ36人	インターネット抽選に向けてパソコンやスマートフォン等に不慣れな方々に体験してもらう。
広報 活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区 各戸配布 市内主要施設 配布	4/15・10/1 各23,000部発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

2歳児と親の教室 ぽっぽちゃんのお家へいこう

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

笑顔で子育て応援講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

① 開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

② 募集対象 小学生

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	12月12日(土)	志津地区に伝わる 辻ぎり体験	辻ぎり作り親子体験	志津歴史同好会
2	12月19日(土)	お正月を迎えるミ ニ門松作り	親子でミニ門松を作る	志津地区 社会福祉協議会
3	12月19日(土) 12月20日(日)	凧作り教室	インターネット配信を 利用して凧作りを学ぶ	佐倉市青少年相 談員連絡協議会

④ 講座を終えて すべての講座を職員及びスタッフが実施するうえで何度も話し合いの場を持ち、できる限りの感染症対策を行って実施した。参加した子どもたちのアンケートでは9割以上が楽しかったと好評だった。今年度は、感染症拡大防止の為、実施できる時期を見極めながらの実施となったが、保護者へのアンケートでも、少ない外出の機会や制限の中での実施だったが感謝の内容が多く寄せられていた。これからも、できる限りの機会を提供できるように考えていきたい。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第30期）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

風情のある寄せ植え講座（秋・冬）

- ① 開設趣旨 コロナウイルス感染症のため、市民の方の心身が疲れ切っている中で、制作を通して心に余裕と潤いを持つひと時とし、きれいなまちづくりの一助とする。
- ② 募集対象 成人 各10人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月 7日（水）	秋の寄せ植え体験	日本ハンギング バスケット協会 高橋 洋子
2	12月 3日（木）	冬の寄せ植え体験	

- ④ 講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受付時に検温と健康チェックを実施し、受講生の距離をとり講座を実施した。講座は、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法、「バエル」配置の仕方などを学んでから体験を開始した。受講者は、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、皆、素晴らしい作品に仕上げた。講師の話術もあり、和やかな雰囲気講座は進んでいった。アンケート結果を見ると、全員が「満足」と答え、「これで新たな気持ちで新年を迎えられる」と。また、講座途中にも関わらず「次回は、いつですか？」等の意見をいただいた。来年度以降も、テーマを変えながら、状況を見つつ、もうしばらく続けていきたい。

包丁について学ぶ

- ① 開設趣旨 コロナウイルス感染症のため、ステイホーム（在宅）する時間が増えている現状から、料理に興味を持つ方も増えている。料理に欠かせない包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行う。
- ② 募集対象 成人 6人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月12日（土）	包丁について学ぶ（座学・包丁研ぎ体験）	調理師 山崎 憲

- ④ 講座を終えて コロナウイルス感染症の対策として、定員を絞り講座を行った。当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。講座は、座学から始まり、包丁に関する歴史、製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。座学については専門的な話もあったが、受講生は、講師に積極的に質問をし、体験についても熱心に行い、志津公民館に設置されている全ての包丁を研いだ。アンケート結果を見ると、全員が「満足」と答え、自由意見欄にも、「家でも実践してみる」「事業の継続を望む」などの意見があり、好評であった。

佐倉学特別講座 百年前に流行したスペイン風邪と佐倉市域の人びと

-歴史から何を学ぶか-

- ① 開設趣旨 100年前に世界中で流行した流行性感冒（「スペイン風邪」「世界風邪」）が人びとの生活にどのような恐怖を与えたか、また、人びとはどのようにして、この恐怖を乗り越えたのか等を見ながら、現在、我々が経験している新型コロナウイルス感染（「コロナ禍」）拡大防止対策を考える。先人が経験した出来事（歴史）から日常生活の中で出来ることを探る。
- ② 募集対象 成人 30人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 5日（土）	佐倉市の感染症に関する歴史を学習する	佐倉市史編さん 委員 中澤 恵子

- ④ 講座を終えて 入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を概ね縦横2mを空けて実施した。受講生の健康を確認後にアナウンスをし、当日の諸注意等を行った。今回の、欠席者は2名だったが、当日の飛込み参加者が2名いた。講座は、計2時間の座学。前半はレジュメを使い、スペイン風邪の概要から、日本国内の感染者の状況と同時期の千葉県内の感染者の状況を表等から学び、当時の予防方法や対策等を学んだ。後半については当時の史料を基に佐倉市域の当時の状況を学び知る事ができた。講座後のアンケートからは、受講者の満足度は高く、100年前の対策が現在と全く重なっていることに驚かされていた。また、現在の状況を後世の残すことも今後重要となることも学んだようである。

佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象 成人 15人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 4日（水）	考古学入門－佐倉の縄文時代－	文化課職員 松田 富美子
2	11月11日（水）	井野長割遺跡とは－遺跡概要紹介－	印旛郡市文化 財センター 小倉 和重
3	11月18日（水）	遺跡探訪－知識を深める－ （現地見学）	文化課職員 松田 富美子
4	11月25日（水）	遺跡の経緯－今後について－ （佐倉市立美術館展示見学・解説）	文化課職員 松田 富美子

- ④ 講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、志津地域に存在する身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。今回の講座については、市立美術館における展示を観覧する回もあ

り、遺跡から出土した遺物を実際に見ることにより、受講者は座学や現地見学で得た知識を再認識することができた。全4回と短期ではあったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高い講座であったことがうかがえた。

佐倉学入門講座 佐倉道を学ぶ

- ① 開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿島山に城を築き、城下町造りを始めた。佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。
- ② 募集対象 成人 20人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月18日（木）	佐倉道とは（総論） 座学	村田 一男

- ④ 講座を終えて この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設していたが、事業が終了となった。しかし、継続を望む声が多く寄せられたため継続事業とした。今回は、平成28年度の「佐倉道を歩く」事業に参加していた一部の受講者が、街道の歴史を後世に残す、残したいとグループでの学習を継続し、自分たちで学んだこと基に講座の講師として実施をしたものである。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、全行程とまではいかなく、一部の区間を「座学と散策」で少人数ではあったが一本番と同じ形で行った。座学の後、座学で学んだ区間を散策する形で実施し、散策中は常に記憶の確認ができた。実施後の反省会では、参加者より実施後の声を直接尋ね、概ね好評な結果をいただいた。今回の散策では受講生同士の親睦が図れた。この事業を継続することで、交流の場となり地域貢献につながる礎が出来、学習意欲の向上も図れると感じた。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、地域づくりへの一層の強化に繋がる事に期待したい。

佐倉学入門講座 成田道を歩く

- ① 開設趣旨 「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的とし、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。
- ② 募集対象 成人 10人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月19日（木）	座学 総論	村田 一男
2	11月26日（木）	散策 佐倉新町～京成酒々井駅	村田 一男
3	12月 3日（木）	散策 京成酒々井駅～公津の杜駅	村田 一男
4	12月10日（木）	散策 公津の杜駅～成田山総門	村田 一男

- ④ 講座を終えて コロナ禍であることから、今回の事業実施にあたり、募集定員を例年の半数とした。コロナ禍にも関わらず、27名の応募があり抽選により10名の受講者を決定した講座は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、机1本に対し1人の使用で実施した。講座は、全4回、座学1回、散策3回、11月19日から12月10日（予備日17日）の毎週木曜日とした。先ず座学による

散策コースの周辺知識を入れてからの散策としたことで学びが深まっていたと感じる。講師の資料の工夫により、座学で配布した資料を持ち歩けたので、現地での確認に繋がりが参加者から好評だった。11月から12月の実施で雨天の心配は少ないと思われたが、天候に恵まれた散策は1回だけで、後の2回はこの時期としては強めの寒気と、散策するには判断がしづらい小雨の中での実施となり、参加者が互いに和気あいあいの雰囲気での散策とならなかったのが残念だった。しかし、今回、参加者を10名と、従来の半数にしたことで、散策特有の細く長い列にならず、街道沿いの石塔や石仏の講師説明の際には聞き漏らす参加者も殆どなく、講師の声も届きやすかった。安全確保もしやすく散策に適した人数ではないかと考えた。講座後のアンケートからも、受講者の満足度は高く、街道散策の継続を望む内容が多かった。また、現在の状況を後世の残すことも今後重要となることも学んだようである。

4. 団体育成事業

第47回志津公民館祭

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

定期利用サークル運営研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

志津ジュニア・リーダース・クラブ（志津JLC）支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

志津地区の子ども会育成活動

- ① 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ② 加入団体 単位子ども会 9団体
- ③ 活動内容
 - ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介
 - ・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
 - ・活動支援相談・連絡調整

公民館園芸ボランティア団体 志津園芸サークル「花の輪」への支援

- ① 概要 以前志津公民館で開催していた「園芸講座」を受講した人たちが、公民館や上座公園の敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、かつ園芸講座の講師に、引き続き花の知識等を教わりながら、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ② 主な活動
 - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
 - ・上座公園の花の手入れ
 - ・花についての自主学习

公民館インターネット抽選申込体験

- ① 解説趣旨 インターネット抽選に向けてパソコンやスマートフォン等に不慣れな方々に体験してもらう。
- ② 対象団体 公民館利用団体
- ③ 体験内容 「ちば施設予約システム」インターネット抽選申込の体験
- ④ 今後に向けて 視覚障がい者の方も気軽にシステムの利用をしていただけるよう、音声読み上げ機能の実装など、レベルアップ要望をしていく。

5. 広報・展示事業

公民館だより「しづ」の発行

- ① ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ② 発行回数 年2回（4月・10月）
- ③ 発行部数 各回23,000部
- ④ 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤ 内容

第247号 (令和2年4月15日)	第248号 (令和2年10月15日)
<ul style="list-style-type: none">●インターネットからの施設予約方法●令和2年度志津公民館サークル用ロッカー抽選会●しづ市民大学 受講生募集●乾電池・蛍光管の回収場所変更案内●公民館利用抽選会日程	<ul style="list-style-type: none">●インターネット抽選導入案内●佐倉学講座 成田道を歩く 井野長割遺跡を学ぶ●志津子ども教室 寄せ植え体験講座●成人教育事業 包丁について学ぶ●募集案内（共催事業） 文章講座

- ⑥ 今後に向けて 今年度は、年2回「公民館だより」を発行した。令和2年4月15日発行の第247号では、令和3年度しづ市民大学開講のお知らせと、受講生募集を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、しづ市民大学の中止が決まったため、申込をされた方には中止の連絡を行った。引き続き、志津公民館の情報が幅広い世代に行き渡るよう、新聞への折込みや施設への配布を行っていきたい。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理事業施行地区内に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集積した地区が形成され、臼井地区の核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、「臼井ふるさとにぎわい祭り」や「佐倉チューリップ・フェスタ」などのイベントが開かれている。臼井公民館に併設されている佐倉市民音楽ホールでは、そのすばらしい響きで定評のあるホールの特性を生かし、クラシックを中心とした国内外の著名なアーティストのコンサートや演劇などの他、様々なイベントで市民のみならず、市外からのお客様を楽しませている。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市(当時四街道町)から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発(染井野)に伴い、公園が整備され、小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【令和3年3月末現在】

○臼井・千代田地区：面積 約18.5km² (佐倉市：面積 103.69km²)

○臼井・千代田地区：住基人口 40,564人 (佐倉市：住基人口 173,216人)

○臼井・千代田地区：人口密度 2,192人/km² (佐倉市：人口密度 1,670人/km²)

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

臼井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりを目指した事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を援助することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの市民に親しまれ活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮させるよう努める。

施設利用

開館日・開館時間

①月・火・木・日曜日、祝日 9時～17時

②水・金・土曜日 9時～21時

※夜間の利用予約が無い場合は17時で閉館

(図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9時～17時に開館する。なお、月曜日、第1火曜日が祝日に当たる場合は開館し、翌日以降の平日に休館する。)

休館日 第2・第4月曜日、年末年始12月28日～1月4日

利用区分 1時間単位(9時～21時)

※利用の受付は原則として、利用日の2か月前の月の2日(1月のみ6日)の利用抽選会から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の利用は利用日の前々月末日から受け付ける。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用件数 (件)	2,553	2,530	2,394	2,072	753
利用人数 (人)	46,554	45,325	41,159	36,492	7,095
開館日数 (日)	333	333	332	309	229

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 2 年 4 月 1 日～5 月 31 日・・・臨時休館

6 月 1 日～6 月 30 日・・・行政利用のみ

7 月 1 日～10 月 31 日・・・一般利用（利用制限付き）

11 月 1 日～1 月 22 日・・・ // （一部利用制限付き）

1 月 23 日～3 月 22 日・・・行政利用のみ

3 月 23 日～3 月 31 日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和 2 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	2,219	770	34.7%
学習室	2,181	607	27.8%
創作室	2,181	602	27.6%
展示室	2,184	380	17.4%
和室	2,181	287	13.2%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 1 月 8 日～2 月 7 日・・・開館時間を 20 時まで短縮

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	毎月 1回	臼井公民館図書室の読書活動推進事業。子供たち向けに、おはなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会。本の世界に親しみとともに豊かな感受性を育むことを目的とする。
	ストリートオルガンコンサート	幼児～成人 15人	毎月 1回	佐倉市民音楽ホールが所有する3台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う。
青少年教育	バックステージ・ツアー	小学生～成人 20人	8月 1回	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り（バックステージ）の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。
	夏休みの工作 スカイスクリーン	小学生 15人	8月 1回	紙やゴムやプロペラ等で簡単なひこうき（スカイスクリーン）を作成する。自らの手で工夫しながら作りだすことにより、個性や創造性を培う。
	小6理科実験室	小学校6年生 10人	12/ 5 6人	「エンピツを倒さず抜こう！」「本当に見てる？」「雲をつくろう！」「あなたもこれで超能力者！」「遠くに転がした缶が…」「理科に関するお話アレコレ」と題し、学校ではなかなか行わない種類の実験や工作作業を通して「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」などといった、中学校で学習する理科科学の原理・法則について学習した。
	こどもコマ大戦	小学生 15人	11月 1回	物理と工作を学べる知育玩具（コマ）を使い、重さの違う部品の様々な組み合わせを考えながらバランスのよいコマを作る。
成人教育	佐倉学体験講座 「バスハイク」	成人 20人	10月 1回	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へ伝えていくことの重要性を認識してもらう。
	佐倉学専門講座 「千葉臼井家譜」刊行記念～秀胤と臼井氏～	成人 25人	1/ 9 25人	臼井氏の家譜を編集した臼井城主の末裔である臼井秀胤（信齊）は、江戸から臼井へ隠棲し先祖ゆかりの円応寺に家譜を納めた。令和2年9月、円応寺に残る「千葉臼井家譜」をもとに、臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会から現代語訳が刊行された。本書をテキストに同実行委員会の森秀夫氏が臼井氏を考察した。
	佐倉学リレー講座 「佐倉歴史の道」	成人 25人	11/28 25人	中近世の古地図や史料を見ながら、当時の陸上交通路、佐倉・臼井から浅草方面や、下総の城から城を結ぶ道などを辿り、地名等の変遷を読み解く。中近世の佐倉において、陸上交通路がどのような側面を持っていたのかを考える機会となった。
	ちよつといいとこ 見て歩き	成人 20人	4月～12月 2回	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
	防犯講座	成人 20人	11月 1回	高齢者に多発する特殊詐欺（振り込め詐欺）被害の防止に向けた啓発を行う。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
コミュニティ	コミュニティカレッジ さくら	18歳以上 30人	5月～2月 1学年28講座 2学年28講座	平成25年度に開設した2年制の市民大学。地域を見つめ、実践活動を通してまちづくりに取り組む人材の育成を目的とし、年間18日程度（月2回）学習する。
団体育成	臼井地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 6団体	4月 1回	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広報・展示	臼井公民館だより	臼井・千代田地区	11/ 1 1,340部	「公民館利用ご利用に当たって感染症拡大防止のお願い・抽選会」など
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井千代田地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与した。
図書	図書の貸出等	幼児～成人	6月～3月	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図った。市民音楽ホールの複合施設としての特殊性を活用し、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を行った。

1. 家庭教育事業

おはなし会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ストリートオルガンコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

バックステージ・ツアー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

夏休みの工作 スカイスクリュー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

小6理科実験室

①開設趣旨 「子どもの理科離れ」が叫ばれるなか、学校ではなかなか行わない種類の実験や簡単な工作作業を通して理科科学に興味をもってもらい、また、中学校理科学習への関心を深めることを目的とする。

②募集対象 小学校6年生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 5日（土） 9：30～12：00	エンピツを倒さず抜こう！ 本当に見てる？ 雲をつくろう！ あなたもこれで超能力者！ 遠くに転がした缶が… 理科に関するお話アレコレ	理科マスター 根本 栄治

④講座を終えて 「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」などといった、中学校で学習する理科科学の原理・法則について様々な実験を行って学習した。次年度以降も小学6年生を対象に継続して実施したいと考えている講座である。

こどもコマ大戦

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

佐倉学体験講座 「バスハイク」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学専門講座 「千葉臼井家譜」刊行記念 ～秀胤と臼井氏～

①開設趣旨 令和2年9月、円応寺に残る「千葉臼井家譜」をもとに、臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会から現代語訳が刊行された。本書をテキストに同実行委員会の森秀夫氏が臼井氏の興亡を考察する。

②募集対象 成人 25人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	1月9日(土) 13:30～15:30	臼井氏の家譜を編集した臼井城主の末裔である臼井秀胤(信齊)は、江戸から臼井へ隠棲し先祖ゆかりの円応寺に家譜を納めた。今回刊行された「千葉臼井家譜」の現代語訳から、臼井一族の興隆、をたどって行った。平氏の出で千葉一族であること、一族の崇拝する妙見信仰、臼井庄について学んだ。 ここで、緊急事態宣言を受け、令和2年度の講座は一旦修了し、翌年度に引き継ぐこととなった。	臼井八景・八ヶ寺めぐり 実行委員会 森 秀夫

④講座を終えて 地元を治めた臼井一族への興味は大きく、満足度も高かった。一族の中興、哀徴へと続く新年度の講座が期待され、地域の文化への理解が深まった。

佐倉学リレー講座 「佐倉歴史の道」

①開設趣旨 中近世の古地図や史料を見ながら、当時の本佐倉・臼井から鹿島城などの陸上交通路の流れを理解し、その変遷を読み解く。

②募集対象 成人 25人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月28日(土) 13:30～15:00	資料から見えてくる当時の陸上交通路、佐倉・臼井から江戸浅草方面や、下総の城から城を結ぶ道などを辿り、牧などの地名等の変遷を読み解いた。中近世の佐倉地方において、陸上交通路がどのような側面を持っていたのかを学ぶことができた。	酒々井町文化財審議会 会長 高橋 健一

④講座を終えて コロナ禍に対応したリレー講座であったが、交通路資料を見ながら、市民がこの地域を理解し、ふるさと佐倉に対する愛着と誇りを育む契機となった。

ちょっといいところ見て歩き

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

防犯講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. コミュニティ事業

コミュニティカレッジさくら

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休講

5. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

①開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体 6団体

③プログラム

回	実施日	学習内容	参加者
1	4月	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催】	
2	8月22日（土）	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 （御伊勢公園周辺） 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
3	9月27日（日）	佐倉市中央交流フェスティバル 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
4	3月	臼井地区子連 卒業バスハイキング 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	

6. 広報・展示事業

臼井公民館だより

①趣旨 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供を行う。

②発行日、内容、部数

号	発行日	内容	配布場所・部数
第34号	11月 1日	「公民館利用ご利用に当たって感染症拡大防止のお願い」 「抽選会のお知らせ・掲示板について」など	臼井・千代田地区 市内各公民館 1,340部

③課題 より多くの地域住民に公民館事業などへの理解を深め、積極的な参加を図るため、配布方法についての検討が必要である。

まちづくり資料室の展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉鎖

サークル展示活動支援

①趣旨 臼井公民館展示室は、市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供されている。また、通常の学習にも多目的利用されている。

②対象 市内で活動実績のある団体を優先する。

③使用について 予約受付は使用月の6ヶ月前の初日（1月のみ5日）。使用期間は1団体につき、火曜日から日曜日までの6日間を原則とする。

④令和2年度展示活動団体数 1団体

⑤観覧者数 124人

⑥使用料 1時間あたり210円（市外団体の場合420円）

令和2年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者（ジャンル）	期日	入場者数
1	佐倉市平和条例25周年 平和を次の世代に “市民のつどい”	平和を次の世代に 市民のつどい 実行委員会	3/28～ 3/30	124人
計		1団体		124人

7. 図書事業

- 開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9：00～17：00
- 休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）
- 貸 出 方 法 登録制で貸出券による。1回につき1人10冊まで15日間貸出する。
- 蔵 書 数
- ・一般図書 26,680冊
 - ・郷土資料 1,790冊
 - （音楽関係図書を含む）
 - ・その他 45冊
 - ・児童図書 11,829冊
 - ・楽譜 4,253冊
 - ・洋書 58冊
 - ・参考図書 589冊
 - ・蔵書冊数 46,186冊（令和3年3月末現在）
 - ・雑誌 25誌
 - ・新聞（朝刊） 8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	980	547	3,211	3,682	3,430	3,441	3,695	3,442	3,358	3,434	3,667	3,970	36,857
貸出冊数 (冊)	3,992	1,792	10,780	11,594	11,163	10,859	11,319	10,601	10,842	11,070	11,621	13,022	118,655
開館日数 (日)	5	5	24	26	25	25	26	24	23	23	23	25	254

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月8日から5月26日まで臨時休館。

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

令和2年度

佐倉市立公民館のまとめ